



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 藤井 賢一郎 (TEL) 03(3534)8522  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	264,384	1.7	5,544	7.4	5,149	△3.5	3,348	13.0
2019年3月期第2四半期	259,927	6.0	5,160	26.6	5,336	30.0	2,962	△8.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 983百万円(△75.3%) 2019年3月期第2四半期 3,975百万円(△35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	238.54	237.48
2019年3月期第2四半期	210.16	208.95

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	355,517	86,056	22.4
2019年3月期	349,656	94,745	24.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 79,621百万円 2019年3月期 86,575百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2020年3月期	—	55.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	4.6	13,300	23.1	13,000	20.9	7,500	93.7	532.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	15,021,551株	2019年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,370,818株	2019年3月期	928,575株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	14,036,856株	2019年3月期2Q	14,093,678株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は売上高264,384百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益5,544百万円(同7.4%増)、経常利益5,149百万円(同3.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,348百万円(同13.0%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

## 「国内卸売」

売上高は、自然災害や天候不順などによる梱包用段ボールの荷動きの低迷や電子化による紙の構造的な需要減少により紙・板紙の販売数量が減少したものの、販売価格の修正により前年同期比3.8%増の147,320百万円となりました。経常利益は、紙・板紙の価格修正が浸透したことにより14.8%増の2,679百万円となりました。

## 「海外卸売」

米中貿易摩擦に端を発した世界的な需要減少の影響があったものの、前第4四半期連結会計期間に連結の範囲に加わったSpicers Paper (Malaysia) Sdn. Bhd. (現OVOL Malaysia Sdn. Bhd.)及びSpicers Paper (Singapore) Pte Ltd(現OVOL Singapore Pte. Ltd.)の業績が反映されていることにより、売上高は前年同期比0.2%減の86,640百万円となりました。一方利益面では、市況品種の価格下落の影響により粗利が大幅に落ち込んだことに加え、為替差損やM&Aによる株式取得関連費用の発生などにより277百万円の経常損失(前年同四半期連結累計期間は1,519百万円の経常利益)となりました。

## 「製紙及び加工」

売上高は家庭紙製品の価格修正が浸透したことや消費増税前の駆け込み需要により、前年同期比6.2%増の12,630百万円となりました。経常利益は、板紙製造事業における原料古紙価格が低位安定したこと及び段ボール原紙の販売が堅調に推移したこと、また家庭紙製品の価格修正が浸透したことなどにより、60.4%増の3,356百万円となりました。

## 「資源及び環境」

中国における古紙等の廃棄物輸入規制の継続実施により古紙の需給が緩んだことから輸出価格が大幅に下落し、売上高は前年同期比14.6%減の15,180百万円、利益面では輸出古紙価格の下落に伴い粗利が大幅に悪化し、28百万円の経常損失(前年同四半期連結累計期間は387百万円の経常利益)となりました。

## 「不動産賃貸」

2018年7月から稼働したOVOL日本橋ビルと2019年4月に稼働したOVOL京都駅前ビルからの賃貸料収入が増加したことにより、売上高は前年同期比69.1%増の2,614百万円となりました。経常利益は、OVOL日本橋ビル、OVOL京都駅前ビルの減価償却費や管理費用などが増加したものの、売上高の大幅な増加により505.7%増の807百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末が金融機関の休日であったこと等により売上債権が減少した一方、英国RADMS Paper Limited及びその子会社6社(Premier Paper Group Limited他)を連結子会社化したことに伴う売上債権、たな卸資産及びのれん等の増加並びに一部の在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことに伴う有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて5,862百万円増加し、355,517百万円となりました。

総負債は、固定資産の取得に係る未払金が増加した一方、コマーシャル・ペーパーの発行、長期借入金の新規調達及び一部の在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用したことに伴う固定負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて14,551百万円増加し、269,461百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加した一方、その他有価証券評価差額金の減少及び非支配株主からの子会社株式追加取得による資本剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べて8,689百万円減少し、86,056百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,855	8,235
受取手形及び売掛金	141,424	136,281
たな卸資産	38,049	43,031
その他	5,168	4,914
貸倒引当金	△943	△766
流動資産合計	191,553	191,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,757	48,686
土地	32,480	33,560
その他（純額）	27,333	32,685
有形固定資産合計	109,570	114,930
無形固定資産		
のれん	3,647	7,345
その他	2,212	2,347
無形固定資産合計	5,859	9,692
投資その他の資産		
投資有価証券	35,633	32,060
その他	9,229	9,208
貸倒引当金	△2,229	△2,102
投資その他の資産合計	42,633	39,166
固定資産合計	158,062	163,789
繰延資産	41	33
資産合計	349,656	355,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,770	99,295
短期借入金	45,249	45,283
1年内返済予定の長期借入金	5,355	8,472
コマーシャル・ペーパー	14,500	18,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,023
未払法人税等	2,455	2,061
引当金	4,476	3,657
その他	14,540	10,918
流動負債合計	197,344	197,709
固定負債		
社債	10,000	10,045
長期借入金	35,837	45,370
引当金	984	1,020
退職給付に係る負債	5,123	5,407
その他	5,623	9,911
固定負債合計	57,566	71,753
負債合計	254,911	269,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	15,258	10,482
利益剰余金	50,878	53,340
自己株式	△3,625	△5,206
株主資本合計	79,160	75,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,206	5,575
繰延ヘッジ損益	3	△0
為替換算調整勘定	78	△503
退職給付に係る調整累計額	△871	△716
その他の包括利益累計額合計	7,416	4,356
新株予約権	217	152
非支配株主持分	7,952	6,283
純資産合計	94,745	86,056
負債純資産合計	349,656	355,517

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	259,927	264,384
売上原価	229,062	231,272
売上総利益	30,865	33,111
販売費及び一般管理費	25,705	27,568
営業利益	5,160	5,544
営業外収益		
受取利息	31	36
受取配当金	364	390
持分法による投資利益	240	175
その他	505	410
営業外収益合計	1,141	1,012
営業外費用		
支払利息	892	1,076
その他	73	331
営業外費用合計	964	1,407
経常利益	5,336	5,149
特別利益		
負ののれん発生益	-	442
固定資産売却益	118	259
段階取得に係る差益	-	83
投資有価証券売却益	234	12
固定資産受贈益	38	-
その他	-	25
特別利益合計	390	821
特別損失		
固定資産処分損	21	74
投資有価証券評価損	-	6
年金基金脱退損失	405	-
その他	2	3
特別損失合計	428	84
税金等調整前四半期純利益	5,298	5,886
法人税、住民税及び事業税	1,755	2,090
法人税等調整額	△58	△200
法人税等合計	1,697	1,891
四半期純利益	3,601	3,995
非支配株主に帰属する四半期純利益	639	646
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,962	3,348

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,601	3,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,364	△2,560
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	△1,099	△510
退職給付に係る調整額	124	155
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△93
その他の包括利益合計	374	△3,011
四半期包括利益	3,975	983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,586	289
非支配株主に係る四半期包括利益	389	695



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年4月26日付で、連結子会社であるBall & Doggett Group Pty Ltdの株式を追加取得いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が4,737百万円減少しております。

当社は2019年8月28日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月29日付で自己株式476,300株の取得を行いました。これにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,717百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が10,482百万円、自己株式が5,206百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間において、RADMS Paper Limited及びその子会社6社（以下「RADMSグループ」といいます。）を、当社による株式取得のため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則全てのリースについて資産及び負債の認識をしております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産の「その他」が6,009百万円、投資その他の資産の「その他」が79百万円、流動負債の「その他」が636百万円、固定負債の「その他」が5,642百万円それぞれ増加し、利益剰余金が97百万円、非支配株主持分が93百万円それぞれ減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	141,951	86,770	11,892	17,768	1,546	259,927	—	259,927
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,022	132	12,546	3,592	63	20,355	△20,355	—
計	145,974	86,902	24,438	21,360	1,609	280,282	△20,355	259,927
セグメント利益 又は損失(△)	2,333	1,519	2,093	387	133	6,464	△1,128	5,336

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△423百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	147,320	86,640	12,630	15,180	2,614	264,384	—	264,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,547	408	13,876	3,619	63	22,513	△22,513	—
計	151,867	87,048	26,506	18,799	2,677	286,897	△22,513	264,384
セグメント利益 又は損失(△)	2,679	△277	3,356	△28	807	6,536	△1,387	5,149

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△672百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度末日に比べ、「海外卸売」のセグメント資産が15,512百万円増加しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、のれん4,047百万円を計上しております。なお、当第2四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しているため、のれん償却費はセグメント利益には含まれておりません。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社丸二ちきりやの株式を追加取得し、同社を持分法適用関連会社より連結子会社に変更いたしました。これに伴い、「国内卸売」セグメントにおいて、負ののれん発生益442百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。